

新しく仲間入りした 新弟子を紹介します



相曾 鼓太郎

はじめまして。 4月1日に入社した
相曾鼓太郎です。

静岡県磐田市生まれの18歳です。私は小さい頃から地元のお祭りが大好きで特に4輪で大きな屋台には憧れがありました。高校に入学した時、屋台をつくれる仕事があることを先生に教えてもらい、そこから宮大工になりたいと思い祖父の紹介でこの会社を知り天峰建設に弟子入りすることを決めました。

私は小学校3年生の時から野球をやってきていたので体力とやる気・根性には自信があります！まず今は研ぎ物や身の回りの整理整頓など完璧にこなし、地元の屋台を一人で設計・加工・組み立てができるようになりたいです。一人前になるためにも今できることを全力で頑張り努力し信頼される、いろいろな仕事を任せてもらえるようになるので、これからよろしくお願ひします。



相曾です



中村です

中村 脩

私は4月に入社した浜松工業高校出身の中村脩です。

小さい頃から宮大工に憧れていたのですが、今日は修行でできていることがとても嬉しいです。私が天峰に入ろうと思ったのは静岡県内の現場に力を入れていることが主な理由です。自分達の県の物は自分達の手で直すというそのスタンスからは、地元民としての意地と職人としての意地の両方を感じ取ることが出来て、自分もそう言えるようになりたいと思いました。

また、私が宮大工という職を選んだのは、小さい頃に見たテレビがきっかけです。そこに映る宮大工は素人には分からない数多くの道具を使いこなしながら、お寺や神社を建てる、修復している姿に小さいながらも感動し、憧れたからです。

今しばらくは修行中の身として研ぎものや、お手伝いをいっしょにやっつけていこうと思っていますが、いつかはお寺や神社の文化財に携わり、自信を持って自分の名前を刻めるような宮大工を目指して努力していきます。これからよろしくお願ひします。